



コクヨ株式会社

本社	☎537	大阪市東成区大今里南5丁目1番1号	TEL 大阪1061976-1221(大代)
仙台	☎380	仙台市一番町2丁目5番22号	TEL 仙台10222166-0594(代)
関東	☎101	東京都千代田区神田駿河台4の2	TEL 東京1031253-8141(代)
東京	☎101	東京都千代田区神田駿河台4の2	TEL 東京1031253-8141(代)
名古屋	☎461	名古屋市東区石神堂町2の22	TEL 名古屋10521935-1331(大代)
京都	☎604	京都市中京区錦池通り宝町西入ル	TEL 京都10751221-2101(代)
大阪	☎537	大阪市東成区大今里南5丁目1番1号	TEL 大阪1061976-1221(大代)
九州	☎812	福岡市博多区古門戸町4番11号	TEL 福岡1092128-3536(代)

LC liquid Crystal

KC-80G

コクヨ 電子ソロバン

〈KC-80G・取扱説明書〉



ご注意

本機では、乾電池の容量が下がってきますと
(マンガン長寿命乾電池で約25時間使用后)
誤計算するのを防ぐために、表示が自動的に
消灯します。

これは故障ではありませんからすみやかに、
乾電池を新しいものと交換してください。

このたびは、コクヨ電子ソロバン〈KC-80G〉を
お選びいただきありがとうございます。

本機を正しくご使用いただくために、この「取扱
説明書」をよくお読みください。

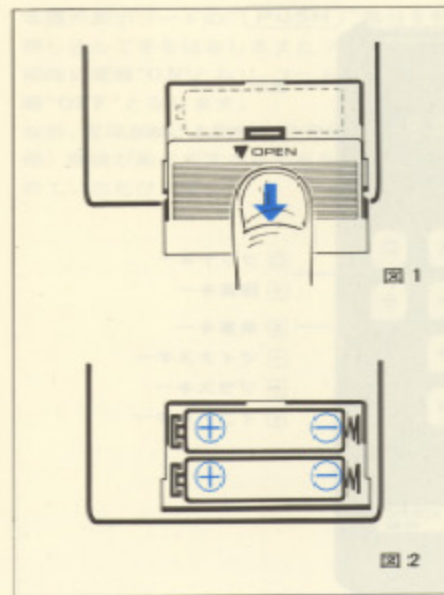
◆もくじ

おねがい	2
電池の入れ方、交換方法	3
各部の名称	4
電源のON-OFF	5
操作キーの説明	5
表示シンボルの説明	6
オーバーフローエラーの説明	6
計算の仕方	7
●加減算	7
●乗算・連乗算	8
●除算・連除算	9
●定数計算	10
●自乗計算	11
●混合計算	12
●応用計算	12
●誤操作の訂正	13
規格	14

おねがい

- この計算機はLSIなどの精密部品より構成されておりますので極端な温度の上昇・降下、湿気、ホコリの多い場所で使用しないでください。また、直射日光の当たる場所での長時間の使用は避けてください。
- 本機を強くたたいたり、落したり、また各キーを強く押込んだりしないでください。
- 本機を掃除される際はシンナー・ベンジン等の揮発性の液体およびぬれぞうきんは使用しないで乾いた柔らかい布などをご使用ください。
- 1ヵ月以上にもわたって計算機を使用されない場合には、必ず乾電池を計算機よりはずしておいてください。これは乾電池の腐食等による計算機本体の損傷を防ぐためです。
- 使用済みの電池は火中に投入しないでください。火中に投入すると爆発するおそれがあります。
- 本機は、絶対分解しないでください。

電源のON、電池の入れ方、交換方法



- ①電池カバーを軽く押しながら矢印方向に引抜きます。(図1)
- ②単3タイプの乾電池を2本入れます。(図2)
(注)電池の⊕・⊖をまちがえないようにしてください。
- ③電池カバーを本体に差込みます。(図1)

※乾電池の容量が下がってきますと(マンガン長寿命乾電池で約25時間使用后)誤計算をする恐れがありますので、これを防ぐために、計算機の表示が自動的に消灯します。この場合、上記の方法で乾電池を交換してください。

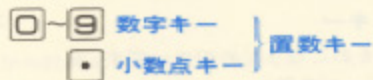
各部の名称



電源のON-OFF

本機の表示フールドの“PUSH”部分を軽く押し込んで手をはなしますとフールドが開くと同時に電源“ON”となり、フールドを閉じれば電源“OFF”となります。
なお、電源“ON”と同時に自動的にクリア（一掃）機構が働きますからただちに計算をはじめていただけます。

操作キーの説明



計算機に数値を置数（インプット）するキーです。

置数についての注意

- 8桁を超える整数値及び小数部を含んで8桁を超える数値や小数部が7桁を超える数値を置数した場合にはオーバーフローエラー（6ページ参照）となります。
- 置数値が小数部のみの場合は小数点の前に、 \square キーを操作する必要はありません。

C クリアキー（ご破算キー）

オールクリア（ご破算にします）
計算機内部の数字をすべてクリアします。また、オーバーフローエラーを解除するときにも操作します。（6ページ参照）

表示シンボルの説明

× 乗算キー

乗算をおこなうためのキーです。
(8ページ参照)

÷ 除算キー

除算をおこなうためのキーです。
(9ページ参照)

+ プラスキー

加算の時に操作します。
(7ページ参照)

- マイナスキー

1. 減算の時に操作します。
(7ページ参照)
2. 乗除算で負数がある時操作します。
(8・9ページ参照)

= イコールキー

計算結果を得るときに操作します。

— マイナスシンボル

表示数値が負の場合点灯します。

オーバーフローエラーの説明

次の場合にオーバーフローエラーをチェックし、全桁の“0”および小数点“.”が点灯します。これは、計算機が許容範囲をこえて使用されたことを知らせるものです。

オーバーフローエラーがチェックされた場合、 \square キーを除くすべてのキーの機能は停止します。したがって、 \square キーを操作してオーバーフローエラーを解除してからふたたび計算をおこなってください。

1. 8桁をこえる整数を置数した時。
2. 小数部を含み8桁を越える数値を置数した時。
3. 小数部のみを8桁置数した時。
4. 除算において、除数が0の時。(A \div 0)
5. 計算結果の整数部が8桁をこえた時。

計算の仕方

正確な計算結果を得ていただくために

電源“ON”の後必ず次の確認操作を終えてから計算には行ってください。

電源“ON” → 0表示
1.1111111 \square \square → 1.2345678表示

加減算

被加減数 \leq 8桁 加減数 \leq 8桁 和・差 \leq 8桁
小数部 \leq 7桁

A+B=ならば、A+B \square

A-B=ならば、A-B \square と

算式通りに操作します。

例1 加算

$$12.3 + 45.6 + 78.9 = 136.8$$

例2 減算

$$45.6 - 14.7 - 78.9 = -48.0$$

例1

手順	キー操作	表示部	備考
1	12.3 \square	12.3	
2	45.6 \square	57.9	12.3+45.6
3	78.9 \square	136.8	(答)

例2

手順	キー操作	表示部	備考
1	45.6 \square	45.6	
2	14.7 \square	30.9	45.6-14.7
3	78.9 \square	48.0-	(答)

例3 減算

$$-23.4 + 30.6 - 20.3 = -13.1$$

注) 負の数値を置数する時には \square と操作します。

乗算・連乗算

被乗数 ≤ 8 桁 乗数 ≤ 8 桁 積 ≤ 8 桁
小数部 ≤ 7 桁

$A \times B =$ ならば、 $A \times B \square$

$A \times B \times C =$ ならば、 $A \times B \times C \square$ と
算式通りに操作します。

例1 乗算

$$1.2 \times 3.4 = 4.08$$

例2 連乗算

$$1.1 \times 2.2 \times 3.3 \times 4.4 = 35.1384$$

例3 被乗数が負の乗算

$$-5.6 \times 7.8 \times 2 = -87.36$$

注) 上例のように、被乗(除)数が負の場合は \square ・ \square ・置数・ \square (\oplus)と操作します。

例3

手順	キー操作	表示部	備考
1	\square \ominus 23.4 \oplus	23.4-	
2	30.6 \ominus	7.2	
3	20.3 \ominus	13.1-	

例1

手順	キー操作	表示部	備考
1	1.2 \times	1.2	
2	3.4 \square	4.08	(答)

例2

手順	キー操作	表示部	備考
1	1.1 \times	1.1	
2	2.2 \times	2.42	
3	3.3 \times	7.986	
4	4.4 \square	35.1384	(答)

例3

手順	キー操作	表示部	備考
1	\square \ominus 5.6 \times	5.6-	
2	7.8 \times	43.68-	
3	2 \square	87.36-	(答)

除算・連除算

被除数 ≤ 8 桁 除数 ≤ 8 桁 商 ≤ 8 桁
小数部 ≤ 7 桁

$A \div B =$ ならば、 $A \div B \square$

$A \div B \div C =$ ならば、 $A \div B \div C \square$ と
算式通りに操作します。

例1 除算

$$45.6 \div 12 = 3.8$$

例2 連除算

$$456.789 \div 12 \div 0.5 = 76.1315$$

例3 被除数が負の除算

$$-456.78 \div 69 \div 0.4 = -16.55$$

例1

手順	キー操作	表示部	備考
1	45.6 \div	45.6	
2	12 \square	3.800000	(答)

例2

手順	キー操作	表示部	備考
1	456.789 \div	456.789	
2	12 \div	38.065750	
3	.5 \square	76.131500	(答)

例3

手順	キー操作	表示部	備考
1	\square \ominus 456.78 \div	456.78-	
2	69 \div	6.620000-	
3	.4 \square	16.550000-	(答)

定数計算

本機は自動定数機能をもっていますから一度乗(除)算をおこなうと、以後は変数の置数と \square キーの操作のみで定数計算がおこなえます。

$A \times B =$ ならば $A \square B \square$
 $A \times C =$ ならば $C \square$
 $A \times D =$ ならば $D \square$

A(被乗数)が定数

$A \div B =$ ならば $A \square B \square$
 $C \div B =$ ならば $C \square$
 $D \div B =$ ならば $D \square$

B(除数)が定数

定数乗算

- 例1 ① $5.5 \times 9 = 49.5$
 ② $5.5 \times 8 = 44.0$
 ③ $5.5 \times 7 = 38.5$

例1

手順	キー操作	表示部	備考
1	5.5 \square 9 \square	49.5	(答)①
2	8 \square	44.0	(答)②
3	7 \square	38.5	(答)③

- 例2 ① $3 \times 2 * \times 45 = 270$
 ② $3 \times 2 \times 62 = 372$
 ③ $3 \times 2 \times 28 = 168$

例2

手順	キー操作	表示部	備考
1	3 \square 2 \square 45 \square	270.	(答)①
2	62 \square	372.	(答)②
3	28 \square	168.	(答)③

※この例では 3×2 の答*6*が定数となります。

定数除算

- ① $12 \div 0.2 = 60$
 ② $45.6 \div 0.2 = 228$
 ③ $78 \div 0.2 = 390$

定数乗除算を続ける場合は「変数の置数、 \square 」と操作します。

注) 定数除算で、第1式目の被除数が負の場合には2式目以降の答の符号が正しく得られませんからご注意ください。

- 例 ① $-4 \div 2 = -2$
 ② $6 \div 2 = 3$
 ③ $8 \div 2 = 4$

自乗計算

許容桁数は一般乗除算の場合と同じです。

- 例 $(((2^2)^2)^2)^2 = 2^{16} = 65,536$

手順	キー操作	表示部	備考
1	12 \square .2 \square	60.000000	(答)①
2	45.6 \square	228.000000	(答)②
3	78 \square	390.000000	(答)③

手順	キー操作	表示部	備考
1	\square \square 4 \square	4.-	
2	2 \square	2.0000000-	
3	6 \square	3.0000000-	
4	8 \square	4.0000000-	

手順	キー操作	表示部	備考
1	2 \square \square	4.	2^2
2	\square \square	16.	$2^4 (4^2)$
3	\square \square	256.	$2^8 (16^2)$
4	\square \square	65536.	$2^{16} (256^2)$

混合計算

例 $\left\{ \frac{(5+12) \times 18 \div 4 - 16}{4} \right\}^2 = 228.765625$

手順	キー操作	表示部	備考
1	5 ⊕ 12 ⊗	17.	
2	18 ⊕ 4 ⊖	76.500000	
3	16 ⊖	60.500000	
4	4 ⊗ ⊞	228.76562	(答)

応用計算

例 逆数計算 (按分比例)

$$\frac{123}{123+456+789} = 0.0899122$$

$$\frac{456}{123+456+789} = 0.3333333$$

$$\frac{789}{123+456+789} = 0.5767543$$

手順	キー操作	表示部	備考
1	123	123.	
2	⊕	123.	
3	456	456.	
4	⊕	579.	
5	789	789.	
6	⊕	1368.	
7	⊞	0.0007309	
8	123	123.	
9	⊞	0.0899122	(答)
10	456	456.	
11	⊞	0.3333333	(答)
12	789	789.	
13	⊞	0.5767543	(答)

誤操作の訂正

誤置数などをした場合は、⊞キーを操作して初めから計算をやり直しますが、次のような場合は、⊞キーを操作せずに訂正することができます。

例1 123 + 455 を
123 + 456 に訂正します。
123 ⊕ 455 と操作した場合

例1

手順	キー操作	表示部	備考
1	123 ⊕	123.	
2	455 ⊖	578.	
3	455 ⊕	123.	誤りを相殺
4	456 ⊞	579.	

例2 7 ÷ 9 を
7 × 9 に訂正
7 ⊗ と操作した場合

例2

手順	キー操作	表示部	備考
1	7 ⊕	7.	誤命令
2	⊗	7.	命令訂正
3	9 ⊞	63.	(答) 7 × 9

注) このように ⊞、⊕ キーだけでなく、⊗、⊖ キーも押しかえることにより命令を変更することができます。

規 格

表示桁数	8桁 (小数部≦7桁)
演算桁数	
加減算	被加減数≦8桁 加減数≦8桁 和・差≦8桁
乗除算	被乗除数≦8桁 乗除数≦8桁 積・商≦8桁
小数点方式	フローティング方式
符 号	マイナス符号つき
レジスタ	演算用 8桁3語
使用素子	LSI 1個 その他
表示装置	液晶
電 源	単3タイプ乾電池 1.5V×2本
使用時間 (20℃)	マンガン長寿命乾電池 約25時間 (電池の種類、電池の使用方法等 アルカリ乾電池 約45時間 により多少の変動があります。)
使用温度	0℃～40℃
消費電力	DC0.1W
外形寸法	高さ19×巾78×奥行132mm
重 量	200g (電池含む)
付 属 品	ソフトケース ×1 取扱説明書 ×1 保証書 ×1 乾電池 ×2 (SUM-3)



保証書発行の手続きはもうお済みでしょうか？

保証書は、このたびお買上げいただきましたコクヨ商品の品質を保証し、万一の場合の保証期間内の無料サービスのために必要です。

もし未発行の保証書をお持ちの場合は、保証書の該当欄に、あなたさまのお名前・ご住所をご記入のうえ、お買上げ販売店で発行手続きをお受けくださいませ。



正 誤 表

	誤				正			
10頁	例 1				例 1			
	手順	キー操作	表示部	備考	手順	キー操作	表示部	備考
	1	5.5 \times 9 $+$	49.5	(答) ①	1	5.5 \times 9 $=$	49.5	(答) ①
	2	8 $+$	44.0	(答) ②	2	8 $=$	44.0	(答) ②
	3	7 $=$	38.5	(答) ③	3	7 $=$	38.5	(答) ③